

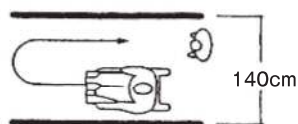
〔廊下〕

廊下（屋内通路）は、次に定める構造とすること。

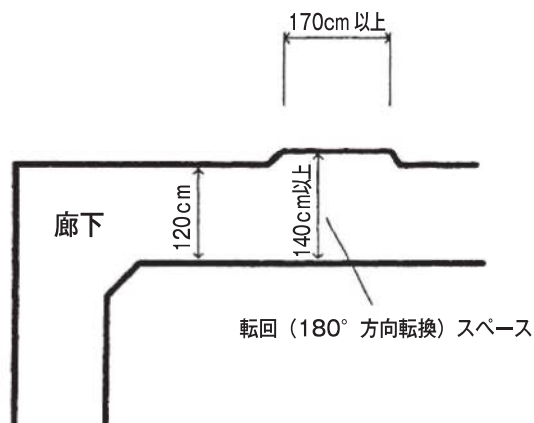
- (1) 有効幅は、1.4m以上とすること。ただし、構造上やむを得ない場合は、1.2m以上とすることができる。この場合、要所（最低限廊下の両端等）に車いすが転回できるスペース（有効幅1.4m以上）を確保すること。
- (2) 床面には、段差を設けないこと。ただし、別項の〔傾斜路〕に定める構造の傾斜路を設けている場合または機械式昇降装置を設置している場合は、この限りでない。
- (3) 床の表面は、滑りにくい仕上げとすること。
- (4) 必要に応じて手すりを設けること。→別項の〔手すり〕を参照
- (5) 原則として突出物を設けないこと。やむを得ず設ける場合は、視覚障害者の通行の支障とならないよう必要な措置を講ずること（高さ65cm以上の部分に突出物を設ける場合は、突き出しの部分を10cm以下とすること。）。
- (6) 廊下の照明は、できるだけむらなく明るくすること。

《 参 考 図 》

【図4.1】 幅140cm：車いすが転回（180° 方向転換）できる寸法

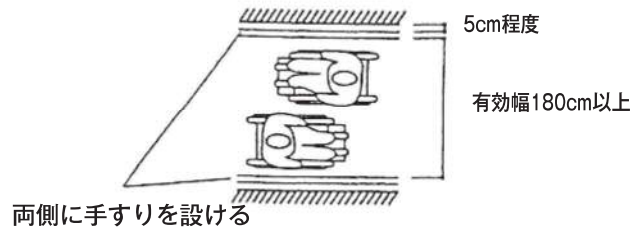


【図4.2】 転回（180° 方向転換）スペースを設けた例

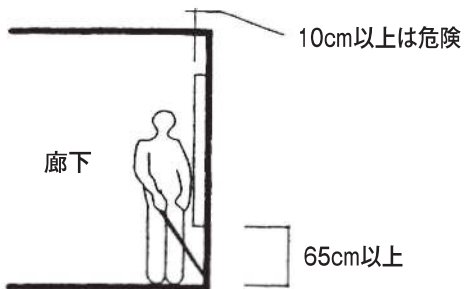


《 参 考 図 》

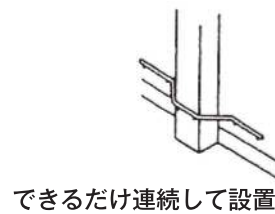
【図4.3】 車いす同士の行き違いを配慮した廊下の例



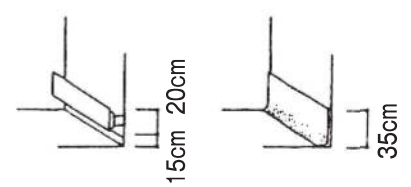
【図4.4】 視覚障害者に危険な突出物



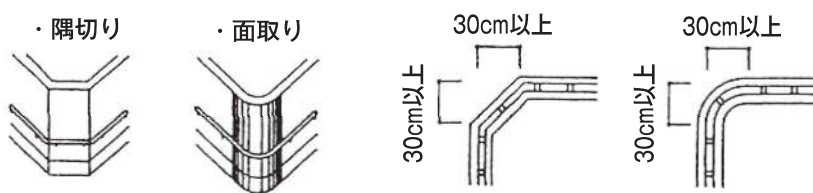
【図4.5】 手すりの設置例



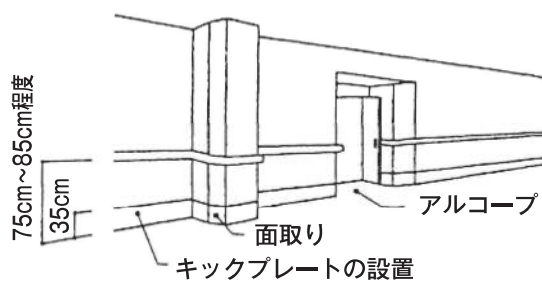
【図4.6】 キックプレートの設置例



【図4.3】 廊下の角の例



【図4.8】 廊下の整備例



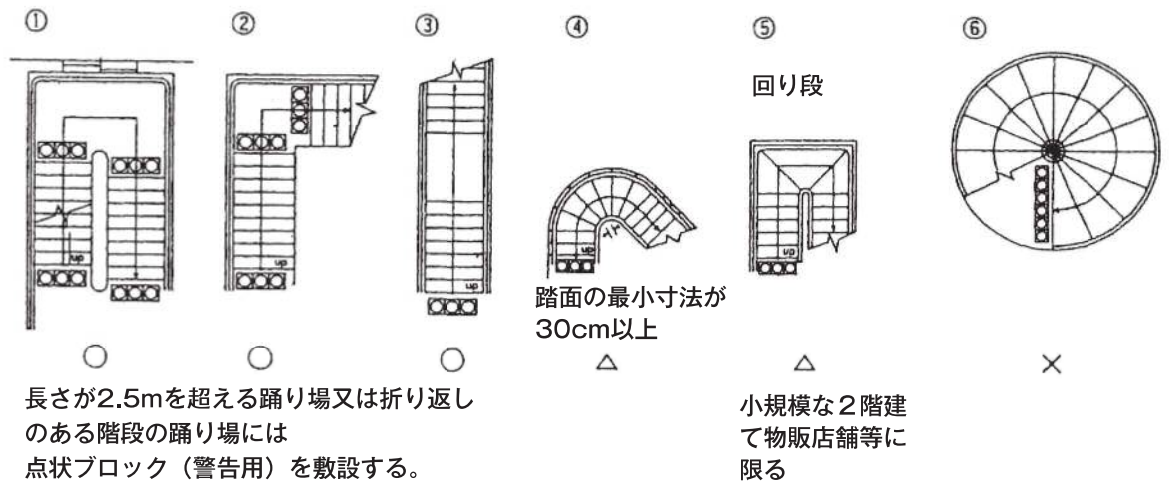
〔階段〕

階段は、次に定める構造とすること。

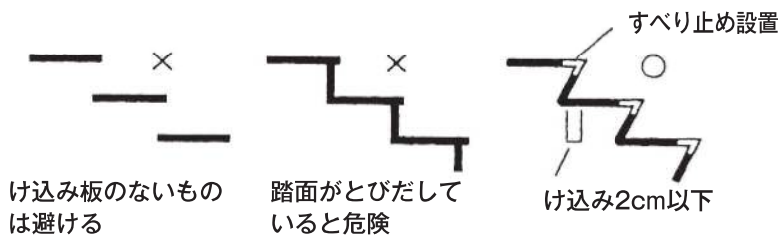
- (1) 主要な階段には、回り段を設けないこと。ただし、構造上やむを得ない場合は、この限りでない。
- (2) け込み板は、杖や足の落ち込みを防止するために必ず設けること。
- (3) 手すり子形式の階段（壁面に接していない側面端部）には、両側に 2 cm 以上の立上がりをつけ、杖等の踏み外しを防止すること。
- (4) 手すりは、階段の両側に連続して設けること。ただし、構造上困難な場合には、少なくとも片側に設けること。→別項の〔手すり〕を参照
- (5) 床の表面は、滑りにくい仕上げとすること。
- (6) 踏面の色と段鼻（すべり止め）の色を対比させることにより、視覚障害者等が識別しやすいものとし、かつ、つまずきにくい構造とすること。
- (7) 昇り口、降り口の床には、点状ブロック（警告用）を敷設すること。ただし、点状ブロック（警告用）の敷設が利用上特に支障をきたす場合には、仕上げの色を変えるなどの代替措置により、段を識別しやすくすること。
- (8) 階段下が、視覚障害者等に危険な空間とならないよう、安全に配慮した措置を講じること。

《 参 考 図 》

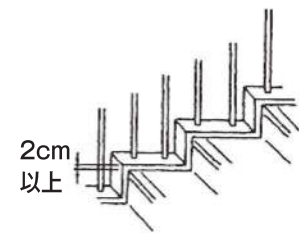
【図5.1】 階段の形状



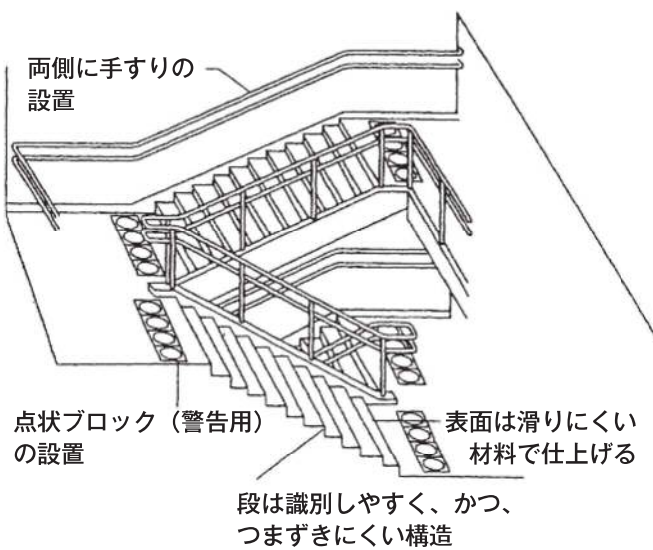
【図5.2】 仕上げ、踏面の形状（つまずきにくい構造の例）



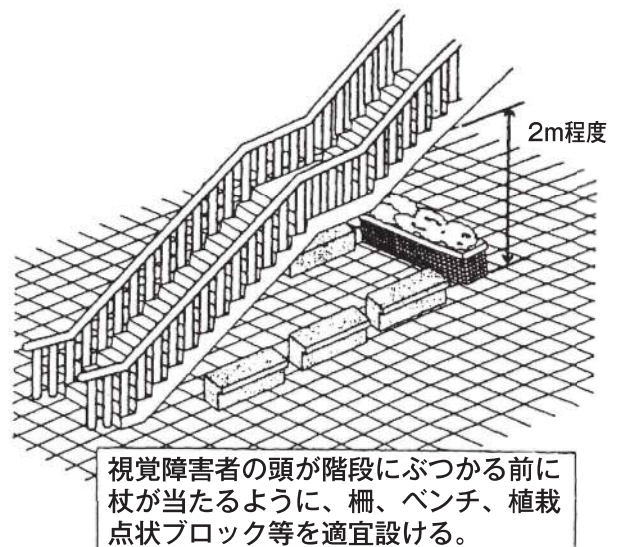
【図5.3】 階段端の立上がり



【図5.4】 階段の整備例

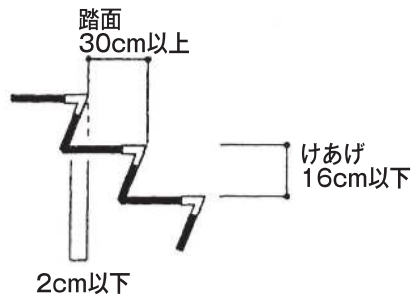


【図5.5】 視覚障害者に対する階段下の安全確保の措置の例

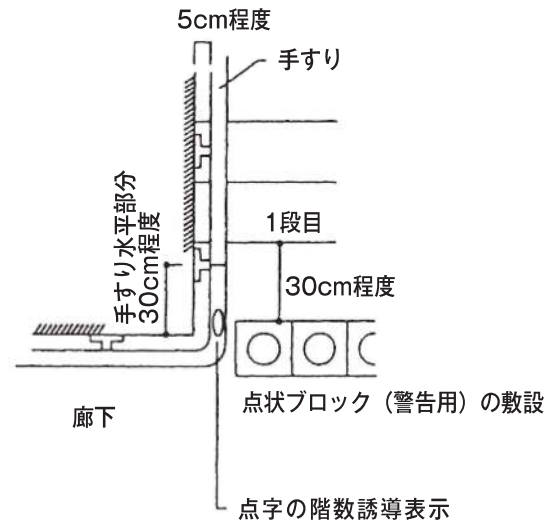


《 参 考 図 》

【図 5.6】



【図 5.7】



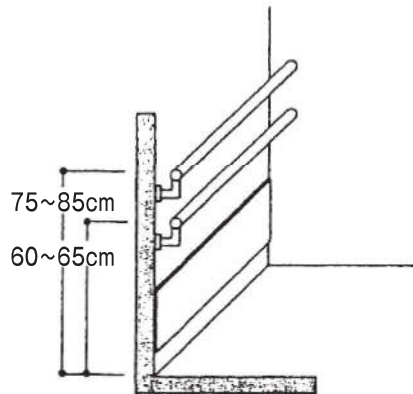
〔手すり〕

手すりは、次に定める構造とすること。

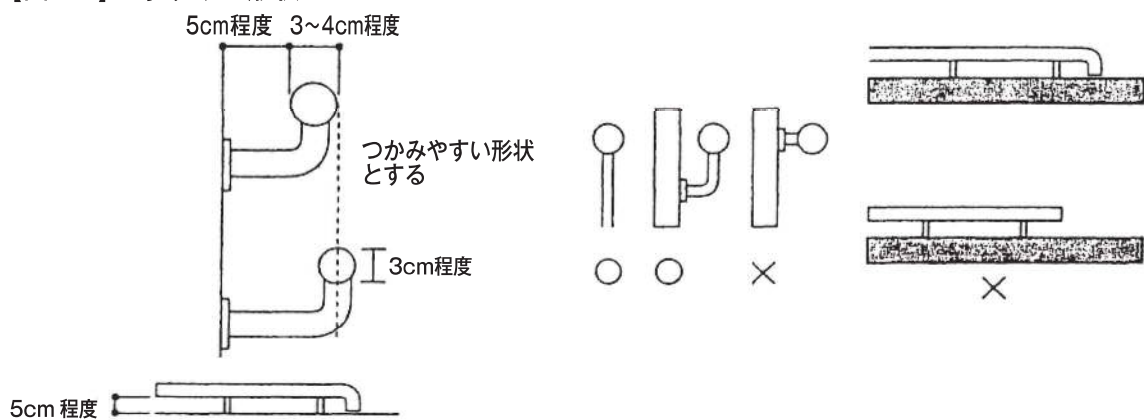
- (1) 取り付け高さは、1 段の場合は75 cm～85 cm程度、2 段の場合は60 cm～65 cm程度および 75 cm～85 cm程度とし、誘導を考慮して連続して設けること。
- (2) 移乗等動作補助用手すり（便所など）は、動作に応じて水平・垂直型のものを設けること。
- (3) 外径3～4 cm程度の円形または楕円形とすること。
- (4) 壁とのあきは、5 cm程度とし、手すりの下側で支持すること。
- (5) 手すりが取り付く壁の部分は、握りそこなって手が落ち込んだ場合を考慮して滑らかな仕上げとすること。
- (6) 端部は、下方または壁面方向に曲げること。
- (7) 手ざわり、耐久性、耐食性など、取付箇所に見合ったものとすること。
- (8) 階段、傾斜路等の手すりは、体重をかけたときに滑りにくいものとすること。
- (9) 壁等周囲と識別しやすい色とすること。

《 参 考 図 》

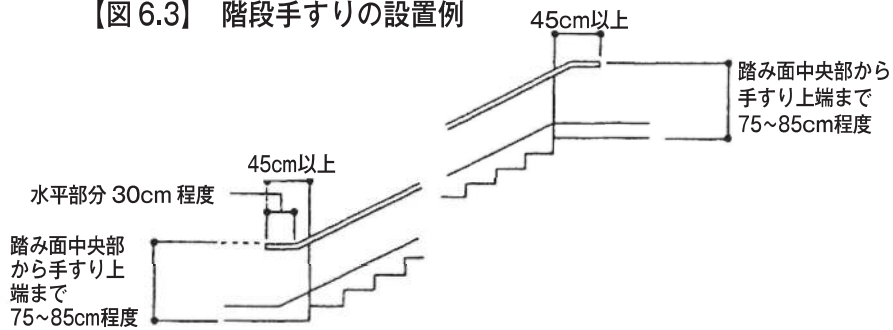
【図 6.1】 手すりの設置例



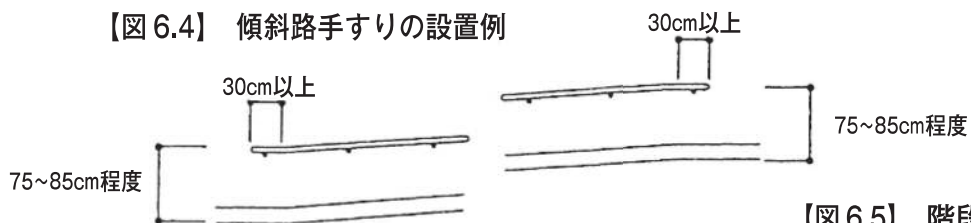
【図 6.2】 手すりの形状



【図 6.3】 階段手すりの設置例



【図 6.4】 傾斜路手すりの設置例



【図 6.5】 階段手すりと点字表示取付例

